

# 中日大学生就職についての比較政策研究

国際社会研究専攻 包金

## 1. 就職現状

世界社会経済の発展につれて中国と日本で大学生の就職問題が生じている。今の社会で大学生の就職問題は注目されている。「就職」って何だろうか?大学を卒業したら就職したいのだろうか?就職したらどんな仕事をやりたいか、など多くの問題は在学の大学生やもう卒業した学生たちが直面している。卒業者の就職困難さは大学生、学校、家族が皆感じることである。大学生は労働資源の一部として国家の労働資源スペックの重要な一環である。2010年の世界金融危機の影響で多くの国で就職と失業問題が厳しくなって、事態をさらに深刻化させた。

中国で国民の総合的な素質を向上させるために学生募集枠を広げる政策の執行により、毎年の卒業生は多くなっていた。大衆化教育のおかげでたくさんの若い人は高等教育を受けた。でも経済状況につれて大学生たちは卒業するという失業危機に直面している。

日本でも大学生の就職問題が起こっている。新卒者は経験が少なく、労働者を募集する機関も比較的になくなって、ほかに、裕福な時代で生まれた若者は楽しくて自由な仕事がほしいからすぐ働きたくないなどのいろいろな原因で、就職問題は政府行政部門の重要な政策課題になっている。

表1 中日大学生就職率状況表<sup>1</sup>

年度	就職率%	
	中国	日本
2005	72.6	78.9
2006	71.8	82.6
2007	70.9	85.4
2008	70	85.2
2009	74	83.9

## 2. 日本の中央省庁による雇用対策

日本で卒業生に支援するために文部科学省から各大学まで一連の支援システムが形成された。

<sup>1</sup> 基国林「中日大学生就業状況比較分析」『学校党建与思想教育』第376期 p95

文部科学省は大学生の就職を促進させる政策を制定して、さらに教育改革を深化させる。大学に教育内容と方法を改善して、学生の職業観を培養し、学生一人一人に就職のことを指導する。毎年10月、12月と来年の2月、4月に全国大学生の就職希望者の専攻や企業内定状況などの就職情報を調査分析して、収集した結果を発表する。厚生労働省は新卒者の就職支援において全国の卒業生の就活情報と各地に開設した説明会の求人情報をインターネットで各地の学生就職センターにつなぎ、使用者を応援する。就職未定者の支援として卒業後就職できなかった人に学生就職センターなどの機関から支援制度を続ける。職業諮問や紹介する以外に3か月の訓練をすれば他の適切な応援をする<sup>2</sup>。

### 3. 日本の大学による雇用対策

大学は学生就職支援の主要な担当者であり、大学生就職活動の中心作用があるから、学校内部の応援も重要なことである。大学内部の就職センターは大学生就職を直接に担当している部門であり、学校もこの部門を十分に重視している。日本の80%以上の大学で就職センターを独立部門として設立して学生たちはスタッフから就職指導を受ける<sup>3</sup>。学校は就職のことを最後の段階だけで重視しなくて、課程内容と教える方法から教育で全体的に改革して、学生たちの職業観や職業知識、技能などの養成を重視する。学生に自身をよく理解させて、自分未来のことを決める態度と能力を養成する。日本では就職体験制度を一種科目として設置している大学がますます多くなっている。たくさん大学は就職について対策を採用している。たとえば、就職体験活動を展開し、インターンシップを実施し、大学と企業の連絡を強化し、企業の理解と協力を取って企業の積極的な参加を確保する。それに、社会に触れるチャンスをとって、大学は、大学在学期間で、社会活動とボランティアなどに積極的に参加させようと、学生を励ます。

### 4. 中国の政府による雇用対策

中国では1978年の改革開放以来、試験制度が回復し、大学生たちの数が増えていった。特に学生募集枠を広げる政策の執行により毎年の卒業生はますます多くなった。以下は2003年から2011年までの卒業生の人数である。

---

<sup>2</sup>中国教育信息网 HP「日本大学卒業生の就業援助体系」  
[http://www.cee.edu.cn/show\\_news.jsp?id=1080](http://www.cee.edu.cn/show_news.jsp?id=1080) (2012年7月現在)

<sup>3</sup>中国教育信息网 HP「日本大学卒業生の就業援助体系」  
[http://www.cee.edu.cn/show\\_news.jsp?id=1080](http://www.cee.edu.cn/show_news.jsp?id=1080) (2012年7月現在)

表2 中国の大学生の卒業状況<sup>4</sup>

年次	人数(万人)	年次	人数(万人)	年次	人数(万人)
2003	212	2006	413	2009	611
2004	280	2007	495	2010	630
2005	338	2008	559	2011	758

卒業した学生は都市と農村の基層部に就職を激励し案内する。基層部は、都市のコミュニティで働くことであり、農村では村の役人、支援教育事業、支援農業、支援医者などのいろいろな職場で働くことである。卒業した学生は中小企業、私営企への就職を激励される。就職する時個人の身上調書の管理、社会保険の取り扱いとフォローなどのたくさんの制度を整理し、学生たちに就職できる環境を提供する。主な企業と科学研究プロジェクトを受け入れて、高等学校卒業生の就職は安定している。大規模の国有企業に先進科学技術を身につけた人を採用させて、そして、国家と地方の重要な科学研究プロジェクトを担当する機関の優秀生の任用を提唱する。学生たちが自主的な創業することを激励・支持する<sup>5</sup>。

大学校は創業教育と実践運動を展開して、国から個人経営することをできる条件に合わせる人に3年間で免税になる。卒業した学生に就職の奉仕事業を強化する。高等学校、教育部門などの社会部門から卒業した学生に就職情報とさまざまな就職サービスを提供する。卒業生の就職能力を昇格させる。大学校は学生に卒業する前に必ず社会实践に参加して、勉強させる。特に、現場へ実習に行かせるのは大事なことである。困難な卒業生の援助制度を打ち立てて、もっと整備する。就職困難と家庭困難の学生に実際状況に合わせて重点的に援助する<sup>6</sup>。

## 5. 対策を執行する上での相違点

両国の政府は困難を解決する視点で主に大学校の教育を重視して、学生たちの実践活動に参加することに激励と支持を与えている。そして必要な時財政からの支援をしている。区別とは日本で文部科学省から各大学まで一連の支援システムが形成されて、中国では政府片方から積極的に伝達しているだけである。でも執行する際にはあまり積極的ではない。

第一に政府は大学生の就職活動を重視するべきである。就職に関する政策を立案して、就職を促進する。第二に大学と就職の関連部門は連携を保ちつつ。就職システムを築く。第三に学生たちは就職の観点を正しく打ち立てて、企業の選り抜きの条件に合わせて、自分の知識や才能が豊かにして、勉強した専攻は実践中に活用する。

<sup>4</sup> 大学生创业网 HP 「中国历年大学毕业生人数统计」

<http://www.studentboss.com/job/newsjj.php?id=44893> (2012年7月現在)

<sup>5</sup> 百度文库 HP 「2010年大学生就业政策解读」

[56http://wenku.baidu.com/view/aea93915866fb84ae45c8dda.html](http://wenku.baidu.com/view/aea93915866fb84ae45c8dda.html) (2012年7月現在)

<sup>6</sup> 百度文库 HP 「2010年大学生就业政策解读」

[56http://wenku.baidu.com/view/aea93915866fb84ae45c8dda.html](http://wenku.baidu.com/view/aea93915866fb84ae45c8dda.html) (2012年7月現在)